

ア等の固定点のアンテナを結んで 1983年までにこれらの間の相対的運動を測定するためのシステムレベルの実験を完了させる計画が進行中である。

拡大帯として挙げられているフィジー台地地域は 太平洋プレートとオーストラリアプレートが 小さなプレートを伴って複雑に作用し合っている地域である。ここでは フィジー南東ラオ海盆中およびフィジーとニューヘブリデスとの間に活動的な拡大帯が存在することが知られている。とくに ニューカレドニアとフィジー間の水平変位は フィジー台地縁辺部の拡大とニューヘブリデスにおける沈み込みを併せて11cm/yrであると見積られている。

おわりに

現在の宇宙技術は 著しい速度で発展 大きく成長し 種々の分野における問題解決に大きな可能性をもつに至っている。とくに グローバルな規模の多くの現象の直接的あるいは間接的観測あるいは計測が可能である。

地学分野では 地体構造の形成 鉱床の分布 火山活動 地震の発生等多くの現象が 最近プレートテクトニクス理論によって統一的に解釈されるようになってきている。これは 地質時代からずっと継続する動的過程によるものであり 現在なお進行中である。この動的過程の実証 定量 モデル化が 今後宇宙技術の応用によって極めて急速に進められることが期待される。

文 献

電波研究所 1978: 超長基線電波干渉計 (VLBI) 実験特集号 電波研究所季報 vol. 24. no. 130
 Minister et al 1974: Numerical Modelling of Instantaneous Plate Tectonics. Geophys. J. Roy. Astron.

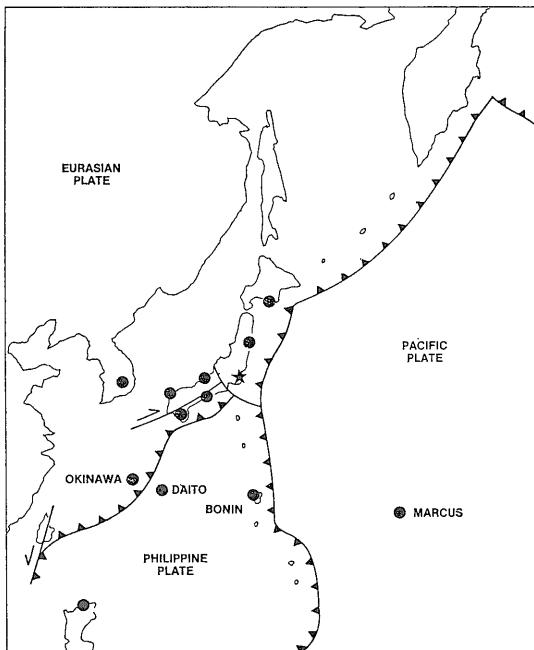


図6 日本周辺の地質構造と移動観測点の配置提案

Soc. vol. 36. pp.541~576.

NASA 1979: Radio Interferometry Techniques for Geodesy. NASA Conf. Publ. 2115, 4939.

NASA 1979: Application of Space Technology to Crustal Dynamics and Earthquake Research. NASA Tech. paper 1464, 257P.

土屋 淳 1982: 宇宙と測量. 測量. vol. 32. no. 2. pp. 12~16.

弓 滋. 1982: 宇宙技術を用いた地殻変動観測. Restec. no. 8, pp. 4~7.

地学と切手



オーストラリアの宝石切手

1973年から74年にかけてオーストラリアで5種6枚の宝石切手が発行された。いずれも宝石とその原石が図案となっている。同時により低額の海洋生物5枚が発行されている。

6c: クリソプレース (Chrysoptase) 玉髓の1種美しい緑色を生じ 蛇紋岩中に細脈となって産する。天然での産出は少ないが オーストラリアは ソ連のウラル カリフ

P. Q.

オルニア ニュージランドと並んで世界の特産地のひとつ

7c : めのう Agate

8cと9c: 蛋白石 Opal

9c : バラ輝石 Rhodonite

10c : スターサファイヤ コランダムの一種 サファイヤ中にルチルの針状結晶を含んだもの。c軸に垂直にカットして6条の星彩効果を出している